

経営比較分析表（令和5年度決算）

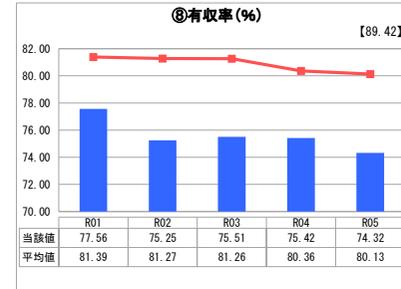
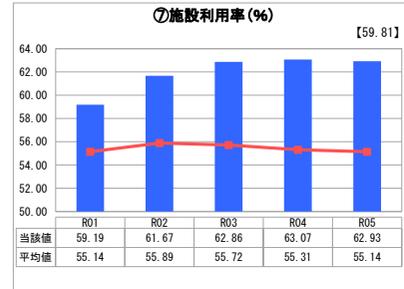
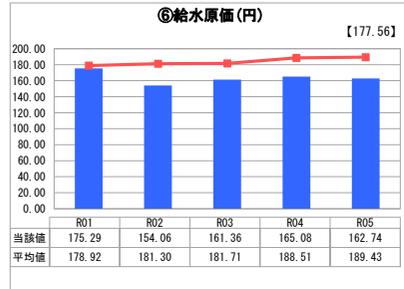
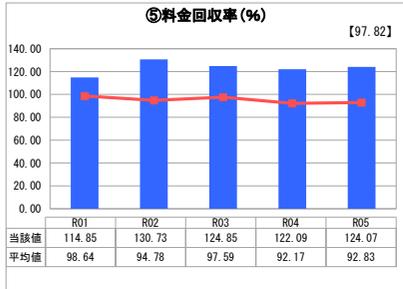
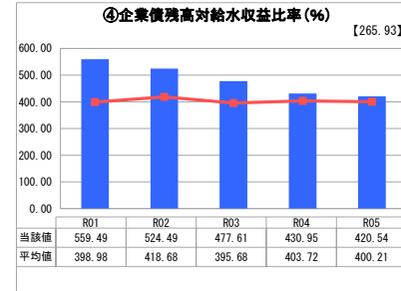
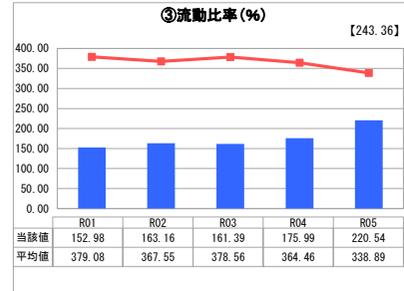
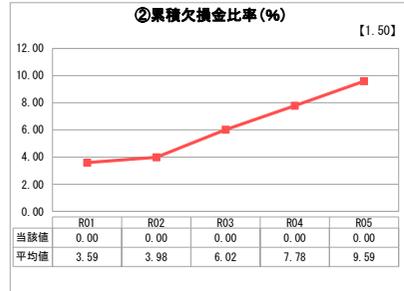
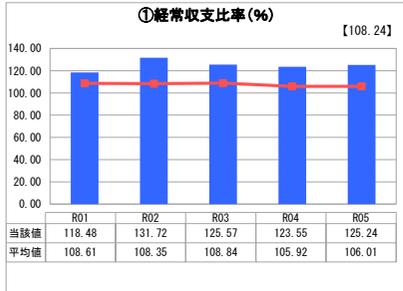
新潟県 胎内市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	61.28	80.70	4,020	

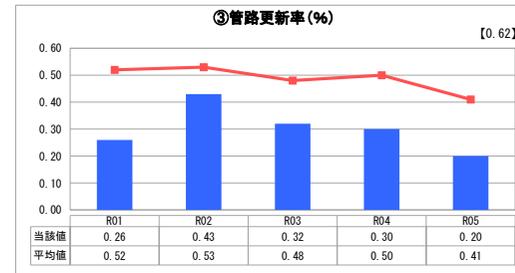
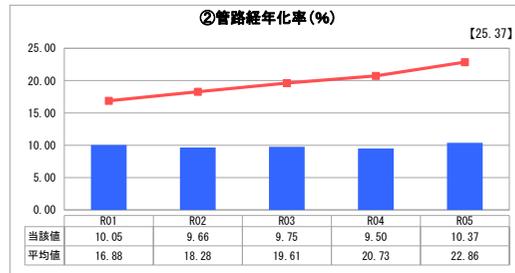
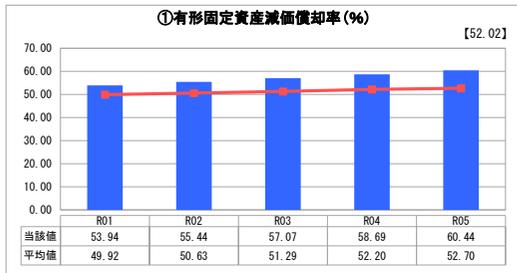
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,284	264.89	103.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
21,846	67.62	323.07

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ①各年度100%を超えており、継続して黒字であることを示している。前年度比が微増した要因として、利率の高い企業債の償還が終わったことによる企業債利息及び施設や管路に係る動力費等の減少により経常費用が減少したためである。今後も経費の必要性を判断しながら経費削減に努めていく必要がある。
- ②0%であり、利益の積立が可能な状況である。近年は積み上げられた利益を企業債の償還の財源として使用している。
- ③類似団体平均値と比べ低い数値となっているが、100%を超えていることから一概に支払能力が低いとは言えない。今後はこの水準を維持していく必要がある。
- ④企業債の償還により残高が減少するとともに、計画的な起債により新規借入額を抑えており、低下傾向にある。
- ⑤各年度100%を超えており、給水に係る費用は給水収益で賄えていると判断できる。
- ⑥前年度比が減少した要因としては経常費用が減少したためである。今後も経費の必要性を判断しながら経費削減に努めていく必要がある。
- ⑦将来の給水人口の減少を踏まえ、ダウンサイジング等の検討を行い、現在の水準を維持していく必要がある。
- ⑧類似団体平均値と比べ低い数値となっている。収益に結びつかない配水が多い。今後は原因を特定し、老朽管の入替工事等の対策を講じる必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①機械設備等の短期更新が必要な資産が多く含まれている。数値は増加傾向にあることから老朽化が進んでいると推測できるため、管路の更新と合わせて機械設備等の更新についても検討する必要がある。
- ②令和元年度から法定耐用年数を超える資産を保有している。今後も耐用年数に達する管路の増加が考えられるため、更新について計画的に進める必要がある。
- ③漏水に伴う布設替等を実施したものであり、老朽化に伴う更新は実施していない。

全体総括

1. 単年度収支の状況から、概ね経営が維持されているところであるが、更なる経営改善が必要であると考える。今後の経営では、人口減少を考慮した中長期的な経営戦略に基づき、継続した安定経営の維持に努めるとともに、料金の定期的な検証も必要である。
2. 老朽化が進んでいると推測できるため、計画的に施設の更新が行えるよう、償却資産に見合った適正な起債利用や民間委託の活用等を視野に入れ、経費削減に努めることで、長期的な財源の確保を行っていくことが求められる。